



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週日曜日発行

お問合せは上記へ

教育予算の増額を

学校給食、平和事業、政治資金

第3回定例
9月議会 鈴木康子議員の一般質問から



市役所ロビーのモニター画面から

市議会での日本共産党の鈴木康子議員の一般質問の概要を紹介します。

他市より低い教育予算

「鈴木康子議員」市財政の性格・実情や、面積なども違うが、教育費について近隣のせいぜい8割前後で、ずっと低く推移している。どう考えているか。

「教育長」少ないとは捉えていない。現場の先生方が創意工夫をして使っていると認識している。

「鈴木議員」児童・生徒一人当たりの額で見れば、歴然とした違いがある。需要費・消耗

品費については少ない予算で各学校ともやりくりしているのが実情だ。ぜひ教育費の底上げをはかってほしい。

「市長」他市の予算も精査し、わが市に不十分な点があれば、増額も検討する。

給食に地場産品を

「鈴木議員」市内の学校給食で使われている食材の産地について現状はどうか。

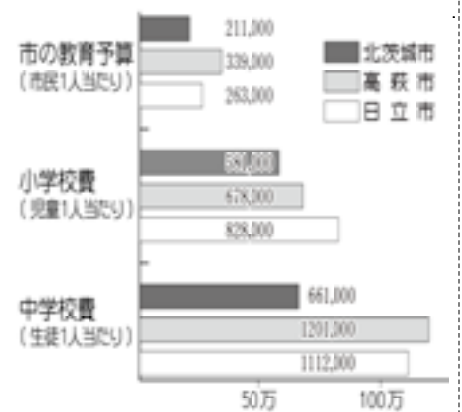
「教育次長」長ネギ、キュウリは地場産を4割以上使用している。大根、白菜、キャベツが15%前後。かなりの野菜を国内産でまかなっている。また、コメは地元

の「ゆめひたち」豚肉はすべて県内産。外国産としては、カボチャで4割がニュージーランド産、冷凍サトイモは全量が中国産。

「鈴木議員」当市のブランドであるカボチャの半分近くが外国産とは残念だ。もつと地元の子どもたちが食べられるよう手だてはとれないものか。

「市長」食材調達には、すべて入札となっている。地場産品には補助事業等で開発

教育予算の比較(16年度資料から)



生産の段階で関与しているところである。

継続した平和の取組み

「鈴木議員」議員提案によって当市で「核兵器廃絶・平和都市宣言」が制定されて、ちょうど20年が経った。宣言以降、どういう取り組みをしてきたのか。

「総務部長」原爆アニメの

核兵器廃絶・平和都市宣言

昭和62年9月28日制定

世界の平和と安全は、人類共通の希求である。いま、国際的な核軍拡競争は、核戦争の危機を増大し、人類生存の恐怖となっている。

私たちは、再び「広島」「長崎」のあの惨禍を繰返さないためにも、すべての国に対し核兵器の廃絶と軍縮を求め、いかなる国の核兵器も許してはならない。

一瞬にして尊い命を奪い、人類滅亡へと進む悲惨な戦争をいかなる理由があろうとも許してはならない。

北茨城市は、日本国憲法の恒久平和の理念に基づき、核兵器の廃絶と人類永遠の平和を希求し、ここに「核兵器廃絶・平和都市」となることを厳粛に宣言する。

上映、親子ふれあいの旅事業で広島・長崎の平和記念式典に参列、また昨年は市広報紙で「平和を語り継ぐ」を特集している。

「鈴木議員」戦後生まれも多くなってきた中で、語り継ぐ大切さはいつそう大きくなっていると考える。映

政治家とカネ

「鈴木議員」安倍内閣の閣僚、特に改造内閣になって、その大臣や議員のお金についてのモラルのなさが毎日報道されている。彼らは、税金から政党助成金を受け取っているが、その扱い方の不透明さが国民の怒りがかつている。税金を徴収する立場にある市長としてどう考えるか。

「市長」ゆゆしき事態と考えている。自らは資産公開をし、政治姿勢を律し、市民のためにやっつけていく。

ご相談はお気軽に



市議会議員
鈴木やす子
☎42-2462



市議会議員
福田 明
☎43-0468

「北茨城民報」はインターネットでもご覧いただけます。
<http://www.jcp-ktib.com/>

編集部では身近な情報をお待ちしています。